

# ♪音楽と私♪

## あすなろ、牛久、五反田、越谷、大田SE所属 岡村斉能

人生100年時代と言われるが、気がつけば私も去る2月に90歳を通過した。視聴覚や足腰の力は急降下し始めたが、未だP.P.K.に至つてはいない。SEで社会に参加しているわが身の幸せを感じ交流して下さる団員や賛助会の方々に感謝している。

私が生まれて10年間は戦争の時代で不安と耐乏の毎日だったが、その後の80年間は平和が続いたのは幸いだった。人類の歴史は戦争と平和のくり返し、世界大戦後に国際連盟を作つたが、最近機能が難しくなつてるのは悲しいことである。

私は子供の頃から歌が好きだった、今でも毎朝のウォーキングの時には色々なメロディーが浮かんでは消える。校歌、歌謡曲、行進曲、ポップス、クラシック等々。よくSEの仲間にVnはいつから始めましたか?と聞かれる。私がVnに出会つたのは大学の寮に入つてからである。同室の先輩によく酒をおごつて貰うのでバイトでためた1万円でお返しをするために飲み屋に連れ出したが、彼からそのお金で楽器でも買つたら?と勧められ、その頃に目覚めたクラシック音楽を弾くためと値段が安いバイオリンをセット7000円で買つたが生涯の幸せをもたらすとは夢にも思つていなかつた。アルコールがバイオリンに化けたのである。

バイオリンは教則本で自習できると思っていたが、買った夜に弦を3本切つて1本だけになり驚いて町の先生に3ヶ月だけ習つた。その後は我流で演奏したがこれが後で大問題になる。

55歳になり役職定年になり、会社もピアノ、エレクトーンの家庭向けのブームが去り業績が急落し、私は「ヤマハ弦楽器部門の開発」を命じられた。私は入社当時からのバイオリン仲間だった小泉安治さん(つくば、あすなろSE団員)にきて頂き、長沢正治先生という芸大バイオリン科卒の80歳ぐらいの、純正調理論の大家を紹介された。彼に特約店向けの弦楽器ビジネスのマニュアルの監修をして頂くためだつたが彼のバイオリンや音楽に関する話がすばらしく、私は即座にこの人についてはVnはうまくなると直感し弟子入りを申し出て許された。休日の時など1日に8時間ぐらい練習して構えからやり直した。バイオリンの面白さに目覚めたのである。

私はVnの師匠の長沢正治先生から「音楽はやさしい曲を皆で合奏して楽しむのが最高」と教えられていた。私は70歳で我孫子のオケをやめSEの普及をライフルワークにしぶつた。新楽団には4年間在籍して育てることを貫く覚悟である。最初に述べた通り周囲のご協力に大変感謝している。なお私と各団の係わり合いは一昨年発行の「全シ連25周年記念誌」をご高覧頂ければ幸いである。

